

(表紙)

「 薬師如来開扉

土砂加持

須賀村

真藏院

」

抑當山薬師尊の由来ハ行基菩薩の御作ニして  
昔陸奥國會津の里伊藤修理太夫光重郷の守り  
御本尊也然ルに仁治壬寅年治乱之砌鎌倉方  
高井左近と會津の里ニ而数度戦ひ既ニ殺死す  
郎等修理が首を取て櫃ニ納め鎌倉へ帰らんと此地へ  
来り其器盤石の如ニして揺動する事あたはず衆人  
驚き蓋を取て是を見るに薬師如来の尊首斗巍々と  
してあり直ニ鎌倉へ許ふ然ルに時氏公是を怪て會津  
修理の御館へ使をたて彼を見るに身命恙なし  
薬師如来尊容斗ニして御首を見ず利置眼前然ル処  
此里渋谷丹波と云もの夢中ニ仏勅を蒙り尊躰を  
彫刻し此地へ一字を建立す固茲世人身代薬師尊と  
奉称悉不違秀筆縁起を御求寛見可被成もの也

如旧例當寅の三月五日より當山薬師如来開扉参詣の  
善男善女為結縁開扉中十二日より十六日迄  
加持土砂修行候間信心之御方ハ家業之透間  
御志願下され

夫光明真言の大切徳力者諸願成就罪障消滅  
無疑処也依之真言昌念誦誦の返数を御志るし  
右真言の廿三文字を拝し為先祖真提子孫